



大輪のヤマユリを楽しんで

大 石田町新作物開発研究会会員の工藤光男さん宅の畑で7月17日(金)にヤマユリの鑑賞会が行われました。

工藤さんは、研究会の海藤明会長の指導のもと、9年前からヤマユリを種子から育てており、生育方法の研究、改良を行い、今では300本もの生育本数になりました。

工藤さんのヤマユリ畑には連日、一般の方や報道関係の方など町内外から多く訪れ、夏の風物詩の大輪の花を楽しんでいました。

小原流いけばな子ども教室を開催

小 原流いけばな子ども教室が、7月18日(土)に虹のプラザで行われました。

小原流は、口の広い器(水盤)に材料を盛るように花を展開させる「盛花」という新形式のいけばなで、今ではおなじみの水盤と剣山を使ういけばなは、小原流が始めたものと言われています。

この日は、町内小学校の7人の児童が参加し、講師の山本和子さんの指導を受けながら、普段は触れることのできないいけばなの作法に苦戦しながら、小原流のいけばなを楽しみました。



児童がそばの種まきを体験

そ ばの種まき体験が、8月5日(水)に大石田南小学校前の畑で行われ、4年生の児童9人が作業を体験しました。これは、横山地域農地・水・環境保全組織の協力で毎年行われているもので、指導者の井上邦義さんや小内英徳さんなどから種のまき方を教わり、学校前の畑で種まきを体験しました。

種まきが終わると、児童は教室で作業を振り返り、そば種の特徴や種まきの際に感じたことなどを絵と文字で書きまとめました。

新しい農業委員を紹介します

7月20日(月)に新たに任命された農業委員の方々へ村岡町長から任命書が手渡されました。また、7月27日(月)に農地利用最適化推進委員の方へ間宮会長から委嘱状が手渡されました。農業委員、農地利用最適化推進委員任期は令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間です。

農業委員

農業委員は、農地の売買や貸借などを行う際の許可、遊休農地に対する措置など、農業者の利益を守る大切な役割を果たしています。



永登 登一 (駒籠)



星川 松雄 (駒籠)



遠藤 史夫 (曙町)



斎藤 松吉 (岩ヶ袋)



笹原 剛 (鷹巣1)



青木 忠弘 (大浦)



今野 悦子 (鷹巣2)



飛渡 孝 (来迎寺)



土屋 隆志 (川前)



高橋 肇 (小菅)



高橋 正子 (坂ノ上)



井上 和巳 (田沢)



会長職務代理
菅原 直志 (今宿)



会長
間宮 良一 (佐田町)

農地利用最適化推進委員

農地利用最適化推進委員は、農業委員と連携して担い手への農地集約、耕作放棄地の発生防止、新規就農者への支援活動などを行います。



高橋 金雄 (上宿)



荒井 正壽 (来迎寺)



奥山 彦也 (里)



高梨 芳一 (新山寺)



羽賀 茂 (庚申町)



工藤 秀春 (海谷)



芳賀 富弥 (豊田)



海藤 雅彦 (駒籠)



佐々木 義一 (白鷺)



海藤 義則 (次年子)